

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	此花スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	株式会社セントラルスポーツプラザ
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和16年 3 月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		80.1%
達成率		100.1%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.8%	99.4%	-0.6%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	93.5%	93.5%	0.0%

利用状況（多目的 1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	74.6%	74.4%	0.2%

利用状況（多目的 2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	21,856,283	17,937,580	-23,717	
	計画	21,880,000	17,937,600		
利用料金収入	実績	4,351,540	5,585,620	-3,738,460	4 か月休館のため。
	計画	8,090,000	7,482,800		
その他収入 （自主事業収入）	実績	8,054,357	9,930,769	-4,585,643	4 か月休館のため。
	計画	12,640,000	13,000,000		
合計	実績	34,262,180	33,453,969	-8,347,820	
	計画	42,610,000	38,420,400		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	11,992,912	12,885,724	-4,567,088	4 か月休館がありましたので支出が計画を下回りました。
	計画	16,560,000	16,414,400		
物件費	実績	15,882,387	13,379,461	-1,687,613	4 か月休館がありましたので支出が計画を下回りました。
	計画	17,570,000	16,951,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	5,745,870	7,503,683	-2,734,130	4 か月休館がありましたので支出が計画を下回りました。
	計画	8,480,000	5,055,000		
合計	実績	33,621,169	33,768,868	-8,988,831	
	計画	42,610,000	38,420,400		

4 管理運営状況の評価（1 次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	100.1%	B	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・水道光熱費削減の取り組み 温度の設定を一定に保ち急激な負荷がかからないことに留意する。 ・館内整備や備品修理等スタッフによる改修や改善の取り組みを行う。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
施設の管理運営	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性		B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

■良いと感じられたところ

・ スタッフの対応が良い。

・ 駐車場が無料なのがうれしい。

・ 体育場のフロアがきれいに管理されている。

■改善すべきところ

・ 洋式トイレの設置が少ない。和式トイレは年配者や子どもが使用しづらい為対応願います。
更新しました。

・ 更衣室のエアコンが効かない。
ロビーを除く全館更新いたしました。

・ バスケットのラインを公式なものにしてほしい。
全面剥離更新しました。

6 外部専門家意見

・ 4か月の休館のなか、収支を黒字化し、収支のコントロールができている点は評価できる。

・ 物件費等については、計画対実績において休館による経費の減少率が低く、削減取組の余地があると思われる。

・ 丁寧な利用者対応を行っていることが報告書からうかがえる。継続を期待する。

・ 施設の使用率は昨年度より2.4ポイント増加しており、積極的に利用促進に取り組んだ結果だと思われる。

・ 従来からのバスケットボールやバトミントン教室が好調とのことであるが、新規事業の取り組みが全く無かったのは残念である。10年間の指定管理期間になるので、中期的な利用者（実態／ニーズ）予測を行い、新たな事業にチャレンジすることで、本市市民のスポーツ環境の向上をめざしていただきたい。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		B	
市費の縮減		B	
管理運営の履行状況		B	
施設	施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
	施設の管理運営		
	事業計画の実施状況		
	施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性			
総合評価		B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立都島屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	株式会社セントラルスポーツプラザ
指定期間	令和6年4月1日～令和16年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		96.5%
達成率		120.6%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		100.0%
達成率		125.0%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	86,521	95,152	-8,631
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	22,215	22,853	-638
稼働率			

令和6年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	66,878,000	45,724,000	0	
	計画	66,878,000	45,724,000		
利用料金収入	実績	28,594,650	31,659,670	-1,105,350	前年度の大半が複数の近隣施設の工事休館がありそちらからの利用があったため年度の比較では減少しました。一昨年比では109%となっています。
	計画	29,700,000	41,100,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	43,093,179	42,167,188	10,241,179	水泳教室は指導員の増員により受け入れ枠を増やしスタジオレッスンは新レッスンの導入、体験会の実施により参加者の増員を達成しました。
	計画	32,852,000	31,440,000		
合計	実績	138,565,829	119,550,858	9,135,829	
	計画	129,430,000	118,264,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	54,345,366	46,683,000	785,366	運営の更なる向上と安定のため、常勤の社員を増員したこと、最低賃金の上昇に伴うアルバイト人件費の増により、計画を超えました。
	計画	53,560,000	52,526,000		
物件費	実績	65,224,099	62,413,397	-7,895,901	光熱水費を機器の運転時間や温度設定の微調整により削減しました。また保守管理費用も業者の選定や交渉により抑制することが出来ました。
	計画	73,120,000	60,194,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	3,532,324	3,090,981	782,324	参加者受入れ拡大のため、指導員の増員とレッスン数の増枠により指導員人件費が増えました。
	計画	2,750,000	1,890,000		
合計	実績	123,101,789	112,187,378	-6,328,211	
	計画	129,430,000	114,610,000		

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度(プール)	120.6%	S	
利用者満足度(トレーニング室)	125.0%	S	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・強制シャワーの水量調整を実施いたしました。 ・マッサージプール等オーバーフロー排水の抑制を実施しました。 ・温度管理による換気時間の徹底を行いました。 ・各所の空調、照明のこまめな電源ON/OFFを実施しました。 ・ボイラーの使用時間調整を実施しました。 ・水質管理の徹底によるプール逆流回数の減少を実施しました。 ・内部書類は使用(印刷)済みの用紙を再利用を徹底しました。 ・自社スタッフによる修繕及びメンテナンスを実施しました。	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設定目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	A	積極的に新規事業に取り組み収入の増加に寄与している
社会的責任・市の施策との整合性	B	

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

■良いと感じられたところ

- ・よく清掃されている
- ・スタッフの挨拶、元気、気配りが良い
- ・忘れ物をしても必ず戻ってくる
- ・利用者の客層が良い
- ・混雑していない

■改善すべきところ

- ・マシンのシートが破損しているところがある → 現在は修繕済です
- ・マッサージプールの水温の管理を → 1 時間ごとに測定し対応しています
- ・ジムで音楽を流してほしい → 現在は有線放送を流しています
- ・マシン、自販機を増やして欲しい → スペースの調整とお客様のご意見を広くうかがいながら検討します。

- ・障がいのある家族と子どもを伴ってプールを利用した際、介助者が離れないよう執拗に注意を受けた。
また子どもの泳力を繰り返し確認され、利用していて不快だった。
→ 安全管理上のお声がけでしたが、今後は用いる言語や話し方について留意いたします。

6 外部専門家意見

・昨年度に引き続きプール・トレーニング室ともに非常に高い満足度である。しかし、昨年度より施設利用者数が全体的に減少したため、1 日あたりの利用者数は低下している。事業報告書より、利用者数の減少は、冬季の外気温低下に伴うものと記載があるため、より積極的に冬季のプール利用促進活動に努められたい。

・収支状況について、新規事業の実施に加え既存事業の枠も拡大したことで自主事業収入の増加につながっている。また、運営の更なる向上と安定のため、常勤の社員を増員したこと、最低賃金の上昇に伴うアルバイト人件費の増により、人件費は計画を上回っているものの光熱水費や保守管理費など経費の縮減に努め支出トータルでは計画を下回っており、収支が黒字であり経営が安定している点が非常に評価できる。昨今の光熱水費が高騰する中、経営ノウハウを存分に発揮している。

引き続き、施設の安定した運営に向けて取り組んでいただきたい。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		S	
市費の縮減		B	
管理運営の履行状況		B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	施設の管理運営		
	事業計画の実施状況		
	施設の有効利用		
	社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価		A	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立中央屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	セントラルスポーツグループ
指定期間	令和6年4月1日～令和17年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		90.0%
達成率		112.5%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		90.0%
達成率		112.5%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	57,088	60,549	-3,461
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	15,251	15,510	-259
稼働率			

令和6年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	76,712,000	62,654,000	0	
	計画	76,712,000	62,654,000		
利用料金収入	実績	26,004,850	26,574,530	-3,995,150	利用者が夏場までは順調に推移しており、冬場の外気温低下により室温にも影響が出て来館数が伸び悩みました。3教室増設し来館を促進しましたが、計画には達しませんでした。
	計画	30,000,000	41,100,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	35,165,215	33,846,940	8,765,215	カルチャースクール(かきかた教室)立ち上げ及び大人レッスン教室2枠増により前年比では増収になりました。レッスン参加率前年比105%
	計画	26,400,000	31,200,000		
合計	実績	137,882,065	123,075,470	4,770,065	
	計画	133,112,000	134,954,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	44,265,210	47,866,130	-10,414,790	当初計画時の計上と異なることによる減(教室事業経費及び賃金改定が影響)しており前年より正社員が現場に入ることにより現場稼働率が上がり、人件費の削減になりました。
	計画	54,680,000	64,684,000		
物件費	実績	71,361,865	66,015,829	-810,135	経年劣化の影響により、施設トラブルが多く発生し修繕費及び消耗品費が大幅増加しておりますがグループのスケールメリットを活かした保守点検業者選定により保守管理費及び清掃費が削減されました。
	計画	72,172,000	63,870,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	5,990,750	4,900,100	-269,250	各種カルチャー教室増設及び大人教室の実施枠を増やしたことで教室集客数と費用共にアップしました。
	計画	6,260,000	6,400,000		
合計	実績	121,617,825	118,782,059	-11,494,175	
	計画	133,112,000	134,954,000		

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度(プール)	112.5%	A	
利用者満足度(トレーニング室)	112.5%	A	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・館内ミキシング交換によりシャワーの水量調整。 ・プール、その他(ジャグジー、幼児プール、アクアゾーン)の逆洗浄頻度の抑制。 ・夏場、冬場のボイラーの使用時間調整。 ・照明時間の調整(時間短縮)。 ・館内空調の温度調整および運転時間調整。 ・スタッフ控室の空調運転停止。 ・内部書類は使用(印刷)済みの用紙を再利用。	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

■良いと感じられたところ

・スタッフの対応が良い

・水質管理が徹底されている

・トレーニングルームマシンが整備されている

・プールレッスンが多く受けやすい

■改善すべきところ

・プール、トレーニングルームにおいて、マナー違反・ルール違反をする利用者
→状況の確認を行いながら継続的に注意喚起を実施します。また、注意喚起の放送につきましても定期的に実施していますが、
更なる対応を強化します。巡回注意・注意喚起のポスターを掲示して改善に努めました。

・洋式トイレの設置が少ない、和式トイレは使いにくいので改善してほしい

・プールに比べ、スタジオレッスンが少ないと感じる

・採暖室、ジャグジー、アクアゾーンの温度が低いとご意見
設定温度変更をいたしました。

・休館日開けの各エリア水温低下のご意見
各エリアに応じて、温度設定の確認とボイラー起動時間延長、窓枠にシートを貼り室温低下をなくすようにしました。

6 外部専門家意見

・利用者満足度は、プール・トレーニング室ともに目標を達成し対前年比でも向上しており評価できる。

・昨年度よりトレーニング場の利用者数は微増しているが、プール利用者数の減少が上回ったため、利用料収入が減少したと考えられる。

・利用者数は、昨年度に引き続き若干であるが低下しているため、原因を詳細に分析し改善に取り組む必要がある。

※利用者減が冬の天候要因としているが、自主事業等は増えていることから今一度原因については多角的に検討を願いたい。

※10年間の指定管理期間になるので、中期的な利用者（実態／ニーズ）予測を行い、新たな事業にチャレンジすることで、本市市民のスポーツ環境の向上をめざしていただきたい。

・トレーニング場の新規事業の参加者が少ないため広報PRに務め利用者増加に努められたい。

・経営努力によって収支を黒字化できている点は評価できる。

・次年度は、事業計画書に記載があるように新たに自主事業を立ち上げなどにより、地域住民の利用者増加に期待する。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立浪速スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	セントラルスポーツグループ ・(株)セントラルスポーツプラザ ・セントラルスポーツ(株) 【構成員】 株式会社セントラルスポーツプラザ セントラルスポーツ株式会社
指定期間	令和6年4月1日～令和17年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		86.1%
達成率		107.6%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.7%	93.4%	6.3%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.1%	97.6%	1.5%

利用状況（多目的室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	93.6%	88.8%	4.8%

令和6年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	77,048,000	43,347,400	0	
	計画	77,048,000	43,347,400		
利用料金収入	実績	9,268,180	9,351,070	-1,731,820	予約・キャンセルの特殊利用による、空枠が収入に影響しました。積極的な案内で注意喚起に努め正しい利用促進に努めました。
	計画	11,000,000	11,170,350		
その他収入 （自主事業収入）	実績	25,223,011	25,210,499	1,223,011	特定クラスで外国人申込が増加傾向にあった事が要因となります。外国人対応が今後の課題となります。
	計画	24,000,000	35,661,716		
合計	実績	111,539,191	77,908,969	-508,809	
	計画	112,048,000	90,179,466		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	23,704,513	26,169,362	-1,203,487	業務の分散及びクロス化により、計画値に対してマイナスとなりました。
	計画	24,908,000	22,468,820		
物件費	実績	86,179,332	77,446,545	14,539,332	修繕及び水道光熱費の計画値に対して大幅増になりました。故障箇所については計画的修繕を進めています。水道光熱使用量は、工夫をして前年比でマイナスに制御ができています。
	計画	71,640,000	55,221,205		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	16,286,441	17,398,652	786,441	レッスン配置増や資金ベースアップにより計画値に対して増加になりました。また教室備品の追加購入費用が要因となります。受講生人数は増加傾向にあります。
	計画	15,500,000	13,542,361		
合計	実績	126,170,286	121,014,559	14,122,286	
	計画	112,048,000	91,232,386		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	107.6%	B	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・ 自社スタッフが小規模な修繕の内製化により修繕費の抑制を行いました。 ・ 物品購入は当社一括システムを利用する事により、価格交渉された商品を敏速に確保でき消耗品費の抑制を行いました。 ・ スポーツセンターでは、時間帯により窓を全解放して全換気を行う事により電気使用量を制御致しました。 ・ グループウェアを積極的に利用する事により、①ペーパーレスを推進②各プロジェクト進行をWEB上で管理する事 ③打合せのWEB化により労務費制御に繋がりました。 ・ スタッフクロス化を強化してシフトの効率化を実施しました。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設定目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

■良いと感じられたところ

- ・館内がきれい、冷水器がある、教室の料金が安い、駅から近いので便利、体育館が広い、スタッフが親切

■改善すべきところ

- ・ズンパレッスンの増加を希望→今後の参考とさせていただきます。
- ・体育館内での金銭やり取りがある団体がいるとのご意見がありました。
→現状を確認して、代表者に施設のルール案内を実施しました。引き続き、巡回及び掲示等で注意喚起を行います。
- ・入口前に自転車をとめる為に、入れない、危険とのご意見がありました。
→定期的な見回り及び自転車への貼り紙を実施しました。

6 外部専門家意見

- ・会議室含めて施設の利用率が高い水準を維持しており、利用者満足度も高く評価できる。
- ・教室の 1 回体験会やワンコイン体験会などを実施し新規顧客獲得に向けた取り組みはもちろんのこと、長く利用いただけるよう努めていることが伺えるため評価したい。
- ・収支に関しては、昨年度と比較し赤字幅は縮小したが依然として赤字であることは改善を促したい。人件費の上昇や光熱水費の高騰、修繕費の増加などは理解するが、本社管理費が計画に比べ大幅に増加しているため理由を伺いたい。
- ・人件費について昨年度より減少なおかつ今年度計画値より下回っており、適切な人員配置を工夫されたと評価できる。
- ・施設利用率は既に高い水準にあるため、収入を伸ばすこと以上に支出を抑える意識を持っていただきたく、費用削減に取り組んでいただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立浪速屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	セントラルスポーツグループ ・(株)セントラルスポーツプラザ ・セントラルスポーツ(株) 【構成員】 株式会社セントラルスポーツプラザ セントラルスポーツ株式会社
指定期間	令和6年4月1日～令和17年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		88.0%
達成率		110.0%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		87.0%
達成率		108.8%

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		88.0%
達成率		110.0%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	53,639	54,849	-1,210
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	24,888	25,059	-171
稼働率			

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	131,338	131,923	-585
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	7,793,000	33,872,600	0	
	計画	7,793,000	33,102,600		
利用料金収入	実績	134,686,760	103,833,211	27,186,760	夏季のスケートリンク利用者数、冬季のプール利用者数の減をそれぞれシーズンでカバーしきれませんでした。下半期はスケートを中心に都度利用者が大幅に増加しました。
	計画	107,500,000	185,887,150		
その他収入 （自主事業収入）	実績	173,593,253	210,186,495	-9,646,747	アイスを中心に通常教室・短期など順調に集客ができて収支計画達成の要因となりました。
	計画	183,240,000	166,273,586		
合計	実績	316,073,013	347,892,306	17,540,013	
	計画	298,533,000	385,263,336		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	107,656,523	106,494,608	24,905,523	通常営業に伴う人員の増員分等が、計画値に対してプラスとなりました。
	計画	82,751,000	68,797,016		
物件費	実績	144,347,874	128,586,009	-46,434,126	業務の内製化により、修繕費・保守費の圧縮に繋がりました。料金的大幅増加はありますが、一定の燃料費制御もできた事も要因となります。
	計画	190,782,000	225,957,107		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	46,891,745	52,663,475	21,891,745	一部教室の内製化、クラス体制変更による差異となります。
	計画	25,000,000	92,088,893		
合計	実績	298,896,142	287,744,092	363,142	
	計画	298,533,000	386,843,016		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	110.0%	A	
利用者満足度（トレーニング室）	108.8%	B	
利用者満足度（アイスクスケート）	110.0%	A	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<p>・ 自社スタッフが小規模な修繕の内製化により修繕費の抑制を行いました。</p> <p>・ 物品購入は当社一括システムを利用する事により、価格交渉された商品を敏速に確保でき消耗品費の抑制を行いました。</p> <p>・ 前年同様ガラス面の多いプールサイドに保温性の高いシートを設置してエネルギー使用抑制を行いました。</p> <p>またシートも次年度も使えるようにした事でゴミの減量に努めました。</p> <p>・ グループウェアを積極的に利用する事により、①ペーパーレスを推進②各プロジェクト進行をWEB上で管理する事③打合せのWEB化により労務費制御に繋がりました。</p> <p>・ スタッフクロス化を強化してシフトの効率化を実施しました。</p>	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	A	積極的に新規事業を実施し新規顧客獲得につながっている
社会的責任・市の施策との整合性		B	

5 利用者ニーズ・満足度等

■良いと感じられたところ

・館内がきれい、冷水器がある、教室の料金が安い、駅から近いので便利、通年でスケートができる

スケートの個人レッスンが充実、体育館が広い、スタッフが親切

■改善すべきところ

・危険滑走者をなんとかして欲しい→巡回強化及び当日退場対応を実施。

・マシンの順番待ちを守らない人がいる→掲示、スタッフの案内を強化しました。

・スケートリンクにおいて、マナー違反・ルール違反をする利用者がいるのご意見。

→掲示物の刷新、注意喚起放送の回数増や巡回を徹底し違反者には退場していただくことをおこなった。

・入口前に自転車をとめる為に、入れない、危険とのご意見がありました。

→定期的な見回り及び自転車への貼り紙を実施しました。

・リンク内で、“教える” “説明する”など必要以上に声をかけられて嫌だとのご意見がありました。

→定期的な見回りを行い、場合によっては個別の案内及び館内放送を実施しました。また掲示物の更新をして

注意喚起の徹底を行いました。

6 外部専門家意見

・利用者満足度は目標を達成しており、昨年度より上昇しているため評価したい。

・自主事業を積極的に実施し、新規顧客の獲得につなげており評価できる。次年度以降も継続していただきたい。

・収支状況については、利用者減少に伴い利用料収入が計画を下回っているものの、積極的な自主事業の実施によりカバー出来ており、結果として収入トータルでは計画を上回っている。支出については、業務の内製化により、修繕費・保守費の圧縮につながったことで光熱水費等の物価高騰の中、物件費の縮減に努めているが、人員増による人件費の増加により微増となっている。収支として、黒字を維持しているものの昨年度より利益幅が減少しているため、その要因を分析し次年度への取り組みへ反映していただきたい。

・昨年と比較し、トレーニング場の利用者減少が特に目立っている。利用促進運動の取り組みに際して民間ノウハウを発揮し、利用者数を安定させ増収につなげていきたい。

・10年間の指定管理期間になるので、中期的な利用者（実態／ニーズ）予測を行い、新たな事業にチャレンジすることで、本市市民のスポーツ環境の向上をめざしていただきたい。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		B	
市費の縮減		B	
管理運営の履行状況	<div>施設の設置目的の達成及びサービスの向上</div> <div>施設の管理運営</div> <div>事業計画の実施状況</div> <div>施設の有効利用</div>	B	
	社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価		B	